

研究成果情報	園芸	35	果樹	病害虫
新技術・情報名	ブドウ枝膨病防除薬剤の選定		分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

ブドウ枝膨病防除剤として、それぞれ休眠期、休眠期～生育初期及び生育期に使用する効果の高い薬剤を選定した。

- (1) 休眠期散布剤：トップジンM水和剤50倍液の1回散布は枝膨病に対して高い防除効果がある。
- (2) 休眠期～生育初期散布剤：デラン水和剤、デラント水和剤、キノンドー水和剤40、フロンサイド水和剤を3月下旬～5月中旬にかけて2～3回散布すると、枝膨病に対して高い防除効果がある。
- (3) 生育期散布剤：デラン水和剤、キノンドー水和剤40、フロンサイド水和剤、トップジンM水和剤を6月上旬～7月上旬に3回散布すると、枝膨病に対して高い防除効果がある。

2) 技術・情報の適用効果

枝膨病に効果の高い薬剤の使用により、ブドウの生産安定が可能となる。

3) 適用範囲

ブドウ（特に巨峰群品種）栽培地帯

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

- (1) ブドウ枝膨病に登録のあるデラン水和剤及びフロンサイド水和剤については防除基準に登載し、普及を図る。使用に当たっては、下記の安全使用基準に留意する。

デラン水和剤：1000倍、収穫75日前まで、2回以内

フロンサイド水和剤：2000倍、開花直前～落弁期、3回以内

- (2) デラン水和剤は黒とう病に対しても高い防除効果がある。

2. 具体的データ

表1 ブドウ枝膨病に対する各種薬剤の防除効果（休眠期～生育初期）

薬剤名	散布時期と希釈倍数			平成元年	平成3年
	休眠期 (3下～4上)	生育初期 (4中) (5中)		発病枝率:% (発病度)	発病枝率:% (発病度)
トップシウム水和剤	50倍	-	-	0 (0)	0 (0)
テラン水和剤	200倍	1000倍	1000倍	- (-)	2.7 (0.5)
テラント水和剤	150倍	700倍	700倍	- (-)	0 (0)
キノト-水和剤40	-	600倍	600倍	- (-)	0 (0)
キノト-水和剤40	600倍	600倍	600倍	1.4 (0.3)	- (-)
フロンサイト水和剤	250倍	2000倍	2000倍	0 (0)	0 (0)
フロンサイト水和剤	500倍	2000倍	2000倍	0 (0)	- (-)
無散布	-	-	-	46.6 (21.7)	91.5 (30.2)

注① 散布月日 平成元年：3月30日、4月17日、5月19日

平成3年：4月9日、4月22日、5月16日

② 調査月日 平成元年：7月21日、平成3年：6月18日

表2 各種薬剤の防除効果（平成2年 生育期）

薬剤名	希釈倍数	発病度
テラン水和剤	1000倍	0
キノト-水和剤40	600倍	0
フロンサイト水和剤	2000倍	8.5
トップシウム水和剤	1500倍	3.2
無散布	-	54.2

注① 散布月日：6月5日、25日、7月9日

② 調査月日：7月19日

3. その他特記事項

担当部科室名：生産環境研究所 病害虫部 果樹病害虫研究室

研究担当者名：梶谷裕二・山田健一・山中正博

研究課題名：ブドウ枝膨病の総合的防除技術の開発

3) 薬剤防除法の確立

期 間：平成元年～平成3年 予算区分：地域重要新技術

既発表論文・資料名等：平成元年～3年度福岡県農業総合試験場果樹

病害虫関係試験成績書

取りまとめ責任者名：梶谷裕二